

# GIFA ふれんどしっぷ

Gifu Hachiman International Friendship Association

## Vol.21

発行  
郡上八幡国際友好協会  
事務局  
郡上市八幡地域振興事務所  
総務管理課内  
☎0575-67-1122  
www.gifa.jp  
E-mail:office@gifa.jp



十二月一日、「郡上市国際交流推進協議会」が発足しました。この協議会は、郡上市で活動している三つの国際交流団体(郡上八幡国際友好協会・白鳥町国際交流協会・美並町国際交流を推進する会)が、互いに情報を共有し、相互協力を行うとともに、郡上市全域へ国際交流活動を広めるため設立されました。議事において、郡上八幡国際友好協会会長の鷲見幸彦氏が初代会長に就任(任期は一年)、当面は語学ボランティア及びホームステイボランティア登録事業をすすめることが承認されました。事務局は、郡上市総合政策部秘書広報課。

### 郡上市国際交流推進協議会 が発足しました

## \* 世界の料理を楽しむ会 \*

# 「キムチづくり」を開催しました



12月18日に、世界の料理を楽しむ会「キムチづくり」を郡上八幡青少年センターで行いました。講師は、八幡町瀬取在住の井田光実さん。井田さんは中国のご出身で日本に来られて3年目。昨年も水餃子を教えていただきました。

参加者は、会員4名と一般10名の計14名。あらかじめ塩漬けにした白菜を持参し、小エビの塩から、にんにくとりんごのすり身、だいこんとネギなどを材料にした本格的なキムチづくりに挑戦しました。井田先生の的確なご指導に従って、約一時間後には、みなさん立派にキムチを漬

けることができました。最後には、講師自作のキムチと餃子でティータイム。楽しく和やかなムードであっという間の2時間でした。

今回作ったキムチは、重しをして屋外で保存し、お正月には食べ頃になるということです。

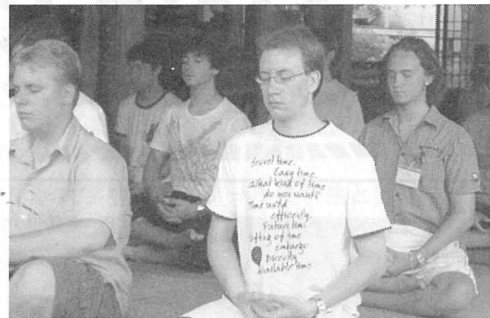
井田先生、参加いただきましたみなさま、ありがとうございました。



# ル」 受入を行いました

八幡町 森 さん

私達家族にとってホストファミリーは初めてでした。楽しみと不安で気が焦るばかりで、ちゃんとした準備もなく当日が来ました。案の定、緊張で「ようこそ」の言葉しか出てこない私達でしたが、エリンのお父さんが青森出身の日本人だという話から盛り上がり、皆緊張が一気にとけました。昼間は釣りをしたり八幡城、慈恩寺、斎藤美術館、温泉などいろんな所をまわりました。エリンは「きれいねー」ばかり言っていましたが、私も本当にきれいだなと思いました。普段、通っている道の奥にこんな江戸時代の様な空間や知らない場所があるなんて、改めて八幡の良さに気づかされました。夜は鮎のバーベキューをしました。エリンはベジタリアンですが魚は好きで、鮎を何匹もおいしそうに食べて、父もうれしそうでした。それから家族全員、母に浴衣を着せてもらい踊りに行きました。エリンは郡上おどり講座で習っていない踊りも見よう見まねで上手に踊り、私達も久しぶりに踊って心地よい汗をかきました。(今年は私達も知らない踊りを覚えなきゃ)寝る前は、お酒も飲んでスウェーデンのことや日本のこと、将来の夢などいろんなことを話しました。歌も一緒にいっぱい歌って、本当に楽しくてあっという間の4日間でした。今からという時にもうお別れで、心に大きな穴がぽっかり開いたみたいで本当に寂しい思いです。こんなに素晴らしい夏の思い出を作ることができて、家族皆、感謝しています。今ではスウェーデンが身近に感じられ、インターネットで調べたり、エリンの話も毎日しています。このすてきな偶然の出会いを大切に、これからもメールや電話などでお付き合いできたらいいなと思います。



座 禅

大和町 白 田 さん

この度のホームステイの受け入れをするにあたり、受け入れ前は留学生を受け入れようか正直迷いましたが、国際交流に興味があったのでホストファミリーに応募させていただきました。しかし、実際にスウェーデン留学生を受け入れると、想像以上に日本語を上手に話され、また日本についてよくご存じで、本当に驚きました。

今回のホームステイで、郡上の素晴らしさを知って頂く目的で、郡上の各所を回ったり、実際に郡上おどりを体験して頂いたり、また、野菜採りの体験もして頂きました。我が家にホームステイされたレナルトさんは、流しそうめんと大滝鍾乳洞が特に気に入りのようでした。また、郡上おどりの会場で、休憩中に一人の知らないおばあさんがやってきてレナルトさんに笑顔で話しかけてきましたが、一生懸命に笑顔で、且つ日本語で会話される場面がありました。とても感動し、またレナルトさんの優しさを見ることができた一場面でした。今回、郡上の素晴らしさを知って頂くといういろいろ案内しましたが、逆に私もレナルトさんのおかげで郡上の素晴らしさを改めて再認識させられた気がしました。

このホームステイの受け入れをするにあたり、私以外の家族はどちらかというとうと拒否的でしたが、実際に受け入れると、家族で食卓を囲み、ビールを飲みながら

話が弾み、両親も楽しかったと感想を言っていました。短い期間でしたが、いろんな貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。

書 道



八幡町 羽 山 さん

今回このような体験をさせていただき、有難うございました。私の家には、21歳のElinという女性の方が訪問してくれましたが、彼女はとても可愛く、一緒にいて私自身が教えられる事ばかりでした。例えば、日本の文化を受け入れようとする姿がみられました。相手の文化を受け入れるということは難しいことですが、ご飯を食べる時に箸を使うなど、日本人にとっては普通の事かも知れませんが、そのような気持ちが私達を幸せにしてくれたと感じます。

私は、国際関係にとっても興味がありますが、Elinにスウェーデンの話聞かせてもらい、前よりスウェーデンという他国の地が身近に感じられるようになりました。

今まで私は、他の家族の方に受け入れてもらう側でしたが、今回このような体験をすることによって、受け入れ側の気持ちも良くわかりました。15日からElinが来ることになって、どんな子かなあ、楽しんでくれるといいなあ、と思うことばかりで、多くの楽しみでいっぱいでした。3日間という短い期間で私は彼女と一緒にいる事で、毎日がとても楽しかったです。その別れが辛く、泣いてしまったことがありましたが、「See you」と言われ、いつかきっと、今度は私が会いに行きたいなあ、と思いました。

私も、今月の29日から、オーストラリアで18日間ホームステイを体験します。異国を訪問する事は、期待もありますが不安な気持ちもあります。そんな中、私もElinのように多くの文化に触れて、行った時よりも成長した自分で帰って来たいです。

このような体験をする事が出来、本当に良かったです。



歓迎交流会

協力：郡上おどり保存会ジュニアクラブ  
相生小学校おはよしクラブ



# 今年度も岐阜大学「サマースクー

7月15日から18日まで、岐阜大学夏期短期留学(サマースクール)に参加している学生の受入を行いました。今年は、スウェーデンのルンド大学から23名、韓国のソウル産業大学から5名の計28名が訪れ、歓迎会では、郡上おどり保存会ジュニアクラブと相生小学校おはやしクラブの協力で郡上おどりを楽しんでいただきました。

一行は、3泊4日の日程で、市内の家庭にホームステイをしながら、書道・紙細工・郡上おどり・座禅・茶道など日本文化を体験されました。

また、ホームステイをする中で、日本の家庭の生活を体験すると共に、夜には、家族とお酒を飲んだり、郡上おどりに出かけるなど、留学生にとって、郡上市での四日間はサマースクール最大の思い出となったようです。また、留学生だけでなく、お世話をいただいたホストファミリーのみなさまにとっても、かけがえのない時間を過ごされたことと思います。

関係者のみなさま並びにホストファミリーを引き受けていただいたみなさまに厚くお礼申し上げますとともに、4つのご家庭の感想文を紹介させていただきます。(感想文は7月に書いていただいたものです。)



学生とホストファミリーの記念写真

## 八幡町 井 藤 さん

「あといくつ寝たら、ヨハンのおうちに遊びにいけるの？」3泊4日のホームステイが終わって、集合場所に送り届けて帰る車の中で、ぼつんと子どもが聞きました。

留学生の皆さんがバスに乗り込んでお見送りをする段では、2歳の娘は号泣し、1年生の息子は目を真っ赤にして別れを惜しみました。さんざん泣いて静かになった帰り道でした。

短い期間でしたが、家族として一緒に過ごすことができた貴重な週末でした。子どもたちにとっても、家に来る親の友人などとはまた違った、より自分に近い存在として、彼を受け入れていたのだなと思います。滞在中、何度しかっても、ヨハンの部屋に入り浸り、四六時中くっついてはなれませんでした。一緒に川で遊び、花火をし、蛍を見に行き、といったいつもの遊びも特別に感じられたことだと思います。

お引き受けするとき、夫も仕事で留守だし、子どもを2人面倒見ながら、ちゃんとお世話できるかしら、と不安な気持ちでいたのですが、そういう、子どもの世話や家事でバタバタする普通の生活に入ってもらうことで、かえって、お互いに親密感を覚えることにつながったように思います。

「国際交流」や「相互理解」などと、抽象的な言葉にしてしまうと、よくわからなくなってしまうと思いますが、お互い1人の人間として、一人一人が触れ合うことがすべての基本なのだのと、実感させていただきました。また、最後の反省会で、ホストファミリーの方が皆さんのいろいろな思いをうかがえたのもとても印象的でした。

得がたい体験を、ありがとうございました。



茶 道

## \* 会 員 募 集 中 \*

郡上八幡国際友好協会では会員を募集しています。年会費は個人3,000円、団体10,000円です。年会費は、留学生の受入や学習会、料理を楽しむ会などの事業や広報活動の費用として大切に使われます。

国際交流事業の企画に関心があり、一緒に実現してくださる方も募集しています。

【お問い合わせ】郡上八幡国際友好協会事務局  
TEL 67-1122 (内線162)

他にもたくさん感想文をいただきありがとうございました。ホームページにも掲載していますので、是非ご覧下さい。 [www.gifa.jp](http://www.gifa.jp)

## GWY (岐阜県世界青年友の会) 事業に協力して 「ドイツ学生受入」を行いました



郡上市内にホームステイした6名



大垣での歓送交流会

9月30日に、「日独学生交流」事業(国際オリンピック青少年センター)におけるGWYが受託している「岐阜県プログラム」の一環として、ドイツの学生20名が郡上市を訪れました。一行は、郡上おどりとサンプル作りを体験し、内6名は、郡上市内で2泊3日のホームステイをしました。

日本語を勉強している岐阜大学サマースクールの学生と異なり、日本語がほとんど話せないということで心配な面もありましたが、ホストファミリーのみなさまのご協力により無事に終えることができました。

最終日には、大垣市の大垣フォーラムホテルで歓送交流会が行われ、ドイツ学生の出し物も含めて多くの催しが実施され、ホストファミリーも参加して盛り上がり

ました。GIFAメンバーも郡上おどりに披露してきました。

ホストファミリーのみなさまには、急なお願いを受けていただきましたこと、また言葉が通じない等のご不便にもかかわらず、暖かくお迎えいただきましたことに対して、厚くお礼申し上げます。



## 岐阜大学日研究生と明宝中学校交流事業

7月14日に岐阜大学日研究生(日本語・日本文化研究生)が明宝中学校を訪問して生徒たちと交流しました。

3年目となる地元中学校との交流事業ですが、今年は中国のゼン・ナンさん、カ・ナサさん、スウェーデンのリーサ・カールソンさんに参加いただきました。

生徒の合唱による歓迎会のあと、3グループに分かれて交流会を行いました。生徒たちは、日研究生による中国とスウェーデンの詳しい紹介に、興味深げに聞き入っていました。

3人の日研究生は、生徒の案内で学校内を見学し、その晩は生徒宅に1泊して、翌日岐阜大学へ戻りました。

子どもたちにとって良い刺激になったことはもちろん、日研究生にとっても日本の中学生との交流は貴重な体験になったことと思います。

